

ドイツ連邦防衛当局 Airbus への支払いを凍結

ドイツ連邦防衛省が、Airbus への支払い 500Million Euro (約 67.522.796.331,25 円) を現在のところ断固拒否。背景は、Airbus に発注していたドイツ連邦軍の物資輸送機 A400M の納入遅れ。Airbus は、納期遅れのペナルティーを自ら、同省に申し入れていたが、受け入れられていない。

また、ドイツ防衛当局は、さらに、別途発注していた Eurofighter の一部オーダーキャンセル。発注台数を 180 機から 143 機にひきさげている。



Airbus Eurofighter Typhoon

Katrin Suder (カトリン・スダー) 防衛省次官は、今年 2015 年に 5 台の A400M が、できあがるはずであったが、機体構成に新しい問題点が発見されたため、今年中の納入は不可能となっており、この納入遅れで、Airbus への信頼が薄れたと、ドイツ連邦国会で説明。

予算引き締め政策の厳しくなる中、今回のニュースは、注目を浴びている。監査役 Volker Wierer(ヴォルカー・ヴィーカー)は、この A400M の納品遅れで、当分の間は、現在使用中の Transall を引き続き飛ばすと発表。



A400M Prototype 機体技術問題で納入遅れ



現在使用中の Transall シリーズ

入金できない Airbus ビジネス展開が、今後、非常に懸念される。

(24.02.2015

小澤エネルギー研究所 Setsuko Schwarzer)

(参考資料)

Der Spiegel Nr. 9 21.02.2015

http://en.wikipedia.org/wiki/Airbus_Group#mediaviewer/File:EUrofighter_9803_5.jpg

http://de.wikipedia.org/wiki/Airbus_A400M#mediaviewer/File:Airbus_A400M_EC-404_ILA_2012_05.jpg

http://en.wikipedia.org/wiki/Airbus_Group